

令和 7 年度予算主要事業の概要 (事業別説明資料)

河合振興事務所



目 次

香愛ローズガーデン施設利活用の推進	3
天生の森と人のプロジェクトの推進	4
飛騨河合音楽の郷の推進	5
山中和紙の技術の維持・継承支援事業	6
国の制度を活用した地域活性化人材の登用＜共通項目＞	7

拡充 香愛ローズガーデン施設利活用の推進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
850	ふるさと納税	850 備品購入
		500 交付金
		300 需用費
（前年度予算 300 ）		50

2 事業背景・目的

香愛ローズガーデンは、平成17年に農業振興・都市交流の拠点として開園しました。しかしながら、集客の要となるバラの生育が芳しくないことから、来訪者数が減少している状況です。

そうした中、地元住民からは香愛ローズガーデンの利活用を望む声があったことから、令和2年度には市の支援のもと、地元有志実行委員会が「バラまつり」を開催し、また、河合町角川を拠点とする「ぴいちくサロン」を定期開催するなど、香愛ローズガーデンが地域交流の場として利活用されてきました。また、令和5年度には地元主婦の方々が中心となり企画運営する「ばあちゃん食堂」など、これまでにないアイデアによって施設が利活用されており、香愛ローズガーデンが地域の活性化に寄与しているといえます。

令和7年度においては、香愛ローズガーデンがさらに多様な活動拠点として持続することを目指し、地元有志の会を支援しながら、賑わいの創出や地域の活性化を図ります。

3 事業概要

①【新規】施設の利活用に向けた環境整備（550千円）

施設が持つ様々な機能を十分発揮できるよう、交流棟1階テラス下に屋内外兼用のテーブルと椅子を設置します。また、市民憩いの場の提供を目的にドリンク用の製氷機を導入します。

②【継続】バラ活用事業交付金（300千円）

バラまつりの開催など、香愛ローズガーデンを活用した事業に対して活動交付金を交付することで、河合町の地域振興を図ります。

③【継続】バラ園の活用（ゼロ予算）

バラ園内の観賞エリア集約を行うことで、バラを集中管理し、バラの健全な維持・保全に取り組みます。

担当課：河合振興事務所地域振興課（☎0577-65-2221） 予算書：P. 59

継続 天生の森と人のプロジェクトの推進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
4,800	国補助金	369	負担金	3,000
	ふるさと納税	4,431	委託料	980
（前年度予算 9,376 ）			工事請負費	820

2 事業背景・目的

河合町のシンボルである「天生の森」は、貴重な高山植物や生物が生息する豊かな自然生態系が残されており、初心者向けの湿原散策から登山者向けの靱糠山まで幅広いニーズに応えるフィールドとして、毎年4～5千人の自然愛好者が訪れています。

市では、この貴重な森を守り次世代へ継承していくため、令和元年度に環境デザイン計画を策定し、森の保全をはじめ、湿原の陸地化防止対策など様々な課題に取り組んできました。令和3年度からは公園内での安全対策として分かりやすい情報サインの設置工事が始まり、令和4年度には森と人とが相互に作用しあう持続可能な取組みとして高い評価を受け、日本サインデザイン賞「銀賞」を受賞しました。

令和7年度では、専門家の指導のもと自然環境の保全と活用のバランスを考慮した森づくりのため、引き続き湿原保全活動や木道改修を行います。

3 事業概要

①【継続】自然環境に配慮した木平湿原木道の整備（820千円）

公園の小高い位置に存在する「木平湿原」の木道が老朽化したことから、自然環境に配慮した運搬・設置が可能な天生県立自然公園オリジナルの組木により木道を順次整備します。

②【継続】天生湿原における植生保護作業の実施（400千円）

湿原・湿地生態系は多様な環境を内包し、多様な生物の生息の場となっていることから、同環境の維持保全のため、専門家による現地調査結果を踏まえ、湿原の陸地化を防止するための作業としてアブラガヤ等の刈取作業を計画的に実施します。

③【継続】天生の森の環境保全管理と後継者の育成（3,580千円）

天生県立自然公園協議会を中心とした保全パトロールや獣害対策等を継続実施し、保全では資材運搬車とAEDのリース継続により、労力の軽減と登山者の安全を図ります。またパトロール員確保対策として1日監視員体験を募るなど、森を守り伝える後継者の育成を図ります。

担当課：河合振興事務所地域振興課（☎0577-65-2221） 予算書：P. 59

拡充 飛騨河合音楽の郷の推進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
6,564	ふるさと納税（特定目的） 6,564	負担金 3,885
		委託料 2,679
（前年度予算 6,300）		

2 事業背景・目的

市では、旧河合村時代から、市内音楽文化の発展を目的として日本を代表するプロ奏者による「真夏の夜のコンサート」を開催するとともに、若手音楽家の育成・輩出を目的とした「飛騨河合音楽コンクール」を実施してきました。これらの取組みによって飛騨市は全国から音楽家が集うまちとして認知されつつあります。

令和7年度は、コンサート及びコンクールを継続して実施する中で、事業の一部を外部委託することや取組みを支える市民団体の協力者や全国から応援して下さる方々を増やすことを通じて、事業全体の持続可能性を高めていくとともに、今後のさらなる市内の音楽文化の普及を推進します。

3 事業概要

①【継続】飛騨河合音楽コンクールの開催（3,180千円）

コンクールの規模は令和6年度と同程度で開催します。事業の広報・周知活動に力を入れ、安定した出場者数の確保に努めるとともに、コンクール当日の一般聴講者の増加を図ります。

開催日：令和7年8月12日～13日 会場：飛騨市文化交流センター

②【拡充】飛騨河合音楽コンクール受賞記念演奏会リサイタルの開催（705千円）

令和6年度グランプリ受賞者による受賞記念リサイタルを開催します。より多くの方にご来場いただき、若手音楽家育成の取組みを紹介できるよう、公演の入場料は無料とします。

開催日：春季もしくは秋季（予定） 会場：飛騨市文化交流センター 船津座（予定）

③【拡充】市内でのクラシック音楽鑑賞機会の提供（2,679千円）

令和6年度と同様に市内の各地で様々な形のコンサートを開催します。また、コンサート事業の一部を専門的なスキルを有する民間事業者へ外部委託し、今後の安定した事業継続を図ります。

拡充 山中和紙の技術の維持・継承支援事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
7,519	一般財源	7,519 委託料

（前年度予算 4,400）

2 事業背景・目的

800年の歴史を持つ河合町の伝統工芸品「山中和紙」は、産業の近代化とともに職人が減少し、現在はわずか2名の職人が事業を継続しているのみとなっています。

原材料の生産から紙漉きまですべての工程を昔ながらの手作業で行うため、生産性が低く、専業で生計を立てることが困難な状況であり、また「いなか工芸館」の指定管理者として長きにわたり運営を担ってきた「河合町手漉き和紙組合」も解散に至るなど、山中和紙の製造技術が途絶えかねない状況となっています。

こうしたことから、山中和紙を製造する技術の維持・継承を支援するため、半官半民による新たな仕組みを開始するとともに、地域おこし協力隊の登用などによって多方面から和紙職人を支援する体制づくりに取り組みます。

3 事業概要

「いなか工芸館」を市の直営施設とする運営方法への見直しを行うとともに、職人の最低限の生活保障や製法技術の維持・継承を支援する「半官半民の仕組み」を構築します。

①【新規】「山中和紙伝統技術継承事業」の導入（2,019千円）

「いなか工芸館」の管理人として山中和紙職人に委託することで、これまでと同様に希少伝統産業である「紙漉き体験」が出来る施設として運営するとともに、伝統工芸の維持・伝承のため和紙職人が事業に専念できる環境を構築します。

②【継続】外部人材の登用（5,500千円）

山中和紙に特化した地域おこし協力隊を登用し、現状の課題把握や原材料生産の効率化をはじめ、技術の伝承など継承支援を行います。また、山中和紙の新規販路開拓や環境に優しい製法に着目した調査研究など、山中和紙の新たな魅力づくりに取り組みます。

担当課：河合振興事務所地域振興課（☎0577-65-2221） 予算書：P.58

拡充 **国の制度を活用した地域活性化人材の登用＜共通項目＞**

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
61,551	一般財源	委託料 47,134
		負担金 8,000
		人件費 6,417
（前年度予算 34,949 ）		

2 事業背景・目的

人口減少先進地である飛騨市では、様々な分野で人口減少や高齢化に起因する人材不足が深刻となっており、これは市役所においても例外ではありません。

こうしたことから市では、特別交付税による国からの財政支援のある人材活用制度を導入し、基礎的条件の厳しい集落の支援や、市の様々なプロジェクトを推進するための中心人物として活躍いただく人材を積極的に受け入れ、それぞれの活動を通じた地域力の維持、強化を図っています。

令和7年度は地域おこし協力隊や集落支援員の報酬単価について、国に準拠した引き上げを実施することで、優秀な人材を確保し、地域活性化の成果を高め、持続可能な地域づくりにつなげます。

3 事業概要

①【拡充】集落支援員の配置（16,884千円）

地域特有の生活課題への対応や住民ニーズの把握、集落と市役所をスムーズに繋ぐ架け橋役として、地域の実情に詳しい人材を配置します。また、1名当たりの報酬単価を国に準拠した4,850千円とします（令和6年度まで：4,400千円）

- (1) 古川町畦畑地区へ1名配置（継続）
- (2) 河合地区へ1名配置（継続）
- (3) 宮川地区へ1名配置（継続）
- (4) 関係人口に関する各種支援を行う「関係人口コーディネーター」を登用（新規）

②【拡充】地域おこし協力隊の登用（30,250千円）

1名当たりの報酬単価を国に準拠した5,500千円とします。

（令和6年度まで：4,400千円）

- (1) 河合町の伝統工芸品である山中和紙を後世に残すため、紙漉き職人のサポートを行うとともに、山中和紙の魅力発信、販路拡大を目指す地域おこし協力隊を登用します。（継続）

(任期：令和6年5月～令和9年4月まで)

- (2) 奥飛騨山之村牧場に活動の主軸を置きながら、地域資源を活用した山之村地域の交流人口拡大と、子どもたちや移住コンシェルジュとの連携による山之村地域への移住拡大を目指す地域おこし協力隊を登用します。(継続)

(任期：令和6年7月～令和9年6月まで)

- (3) 地域資源である薬草を活用した市民の健康意識向上を目的とした薬草のまちづくりの更なる普及や、今後の新規事業開発をリーダーとして進める地域おこし協力隊を登用します。(継続)

(任期：令和6年10月～令和9年9月まで)

- (4) 市の情報発信力の強化と職員負担を軽減する持続可能な広報業務を目指し、広報業務広報プロモーションを行う地域おこし協力隊を新たに登用します。(新規)

(任期：令和7年度より3年間)

- (5) 市独自の人材育成プログラム「飛騨市作業療法によるまちづくり研究所」の仕組みを新たに導入し、学校をはじめとする作業療法士の確保と育成体制を確立し、全国から優秀な作業療法士の集まるまちづくりを目指しながら、学校作業療法の効果検証によるエビデンスの確立等学校作業療法室の更なる充実を図ります。(新規)

(任期：令和7年度より2年間)

- (6) 市独自の人材育成プログラム「飛騨市広葉樹アカデミー（仮称）」を設立し、飛騨市の広葉樹サプライチェーンに関連する事業者と連携した学びの場を提供することで、地域おこし協力隊制度を活用した広葉樹人材を育成し、現在生じている流通課題の解決を図ります。(新規)

(任期：令和7年度より2年間)

③【継続】地域プロジェクトマネージャーの登用（6,417千円）

自治体のプロジェクトを推進するにあたり、関係者間を橋渡ししつつ、当該プロジェクトをマネジメントできるブリッジ人材を会計年度任用職員として任用する国の制度を活用し、飛騨市の交流人口の拡大と市外からの移住定住者の拡大を目指した戦略的なシティプロモーションを担う「地域プロジェクトマネージャー」を登用します。

(任期：令和6年5月より最長3年間)

④【新規】地域活性化企業人の登用（8,000千円）

地域の活性化を図るため三大都市圏に所在する企業の社員を自治体に派遣し、地域課題に対して専門的な知見を活かしながら即戦力人材として従事する国の制度を活用し、派遣者1名を新たに受入れ、「ねんりんピック岐阜2025」飛騨市サッカー交流大会の企画運営やクアオルト健康ウォーキングの事業推進を図ります。

(任用期間：令和7年4月～令和9年3月まで)

担当課： ①-(4)、③-(1) 企画部ふるさと応援課 (☎0577-62-8904) 予算書：P. 47

②-(4) 企画部総合政策課 (☎0577-73-6558) 予算書：P. 52

②-(5) 市民福祉部総合福祉課 (☎0577-73-7483) 予算書：P. 71

①-(1) 農林部農業振興課 (☎0577-73-7466) 予算書：P. 100

②-(2)、②-(6) 農林部林業振興課 (☎0577-62-8905) 予算書：P. 106

②-(3) 商工観光部まちづくり観光課 (☎0577-73-7463) 予算書：P. 112

①-(2)、②-(1) 河合振興事務所地域振興課 (☎0577-65-2221) 予算書：P. 58

①-(3) 宮川振興事務所地域振興課 (☎0577-63-2311) 予算書：P. 58

②-(2) 神岡振興事務所建設農林課 (☎0578-82-2254) 予算書：P. 58

④-(1) 教育委員会スポーツ振興課 (☎0578-62-8030) 予算書：P. 142